

特別支援教育における金融教育の取り組みⅢ

小金井俊夫 尾高邦生 吉澤洋人 小島啓治
滝澤千恵子 池尻加奈子 川井優子 山本由佳 伊藤友彦

はじめに

東京学芸大学附属特別支援学校は、東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同プロジェクトに2007年度より参加し、「特別支援教育における金融教育」というテーマで研究・実践的検討を行ってきた。特別支援教育への転換期であるこの時期に、金融教育を、支援を必要としている子どもたちにどうなげかけていくかは、特別支援教育の内容的検討という意味において重要なものであると考える。それは、この子どもたちが、社会の中でどのように生きていくかを考える契機であり、そのためにどのような学習内容を学校として与えられるかを考える機会でもあると思うからである。今回の報告は、金融教育を、知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部の中・軽度の生徒への「くらしづくり」のための学習の一環としてとらえ、この2年半の間に本校で検討してきた内容と授業実践について報告するものである。

1. 研究の課題

研究の課題を研究の当初、次のように設定した。

- ① 金融教育の指導内容の検討 : 高等部の中・軽度生徒を対象とした金融教育の指導内容のモデルを作成する。
- ② テキスト、指導案集の作成 : 上記指導内容を元にしたテキストや指導案集を作成する。
- ③ 授業づくり : 指導内容の検討のための授業を行う事を通して、授業づくりのポイントを明らかにする。

2. 研究の経過

2007年度より本研究に取り組んできたが、これまでの各年度の主な活動は以下のようである。

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 2007年度 | 高等部の中・軽度生徒を対象とした金融教育の指導内容のモデルの作成 |
| 2008年度 | 金融教育のテキスト「くらしとお金」の作成
授業作り |
| 2009年度 | 金融教育テキストに沿った授業作りと授業展開事例の蓄積 |

3. 特別支援教育における金融教育の指導内容（2007年度）

2007年度の主な検討内容のひとつが、特別支援学校高等部における「金融教育の指導内容」についてである。「特別支援教育における金融教育」を知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部における中・軽度生徒への「くらしづくり」ための学習ととらえた時、そ

の内容は大きく二つに分けることができる。そのひとつは、生徒達が卒業後の生活の中で出会う具体的な場面の中で必要となる知識や行動の学習である。例えば旅行などの計画の立て方や予算についてであり、また、銀行の利用の仕方や、金銭管理の方法などである。もうひとつは、より社会的事象に関心を深め、社会で起こっていることが理解できるようになっていくための知識である。例えば年金についてであり、流通や物の値段についての知識などである。本研究では、これらの学習を「わたしたちの暮らしとお金」という名称でまとめ、上記分類の前者を「暮らしとお金」、後者を「社会と経済」という名称でまとめた。指導内容の一覧等詳しくは一昨年度の本校の紀要「東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要No.52」を参考にさせていただきたい。

4. 生徒用テキストや指導案集の作成について（2008年度）

2008年度の主な検討内容のひとつが生徒用テキストの作成である。テキスト「暮らしとお金」は、「わたしたちの暮らしとお金」という名称でまとめた「特別支援教育における金融教育の指導内容」（以下「指導内容」）の内の前半「暮らしとお金」の部分を生徒用のテキストとしてアレンジしたものである。「指導内容」が特別支援学校高等部の中・軽度の生徒を対象としているように、このテキストも同じ生徒達を対象として構成している。テキストは、「指導内容」の前半「暮らしとお金」を構成している5つの内容に「はじめに」と「おわりに」をつけた全7章で構成されている。内容としては、「暮らしとお金」に盛り込まれた内容の導入の部分でまとめたものと捉えていただければと考えている。また、いくつかの節に1ページのワークシートを配している。各学校等で使用される場合には、これらの点を考慮して頂き、それぞれの授業の対象者の状況等に応じ、また、必要な内容に関してさらに掘り下げて授業を行って頂きたいと考えている。ワークシートについてもそのまま使ってもかまわないし、ひとつの参考としてさらに生徒たちに合わせた工夫をしていただけると、とも考えている。

また、指導案集については、現在検討を重ねている段階で、作成には至っていない。

5. 授業づくり（2007, 2008年度）

授業づくりについては、高等部の「暮らし」の時間に軽・中度の生徒を中心とした1～2グループで継続的に行ってきた。その中では、次のようなテーマでの研究授業も行った。

2007年	7月	外出の計画とお金の使用について	: 計画的なお金の使用
	7月	小遣い帳をつけよう	: 計画的なお金の使用
	10月	ATMの利用の仕方	: 金融機関の利用
	10月	印鑑や通帳の扱い	: 安心な暮らし
2008年	10月	ATMの利用について	: 金融機関の利用

これらの授業づくりの中で、次のことを授業づくりのポイントとしてあげることができた。

◎授業を組み立てるにあたってのポイント

- ①生徒の主体性を重視する。
- ②現実的な場面を経験するとともに、将来の自分の生活を想像させる。
- ③生徒に身近な、また具体的な話題から考えさせ、具体的な内容や教材を準備する。
- ④現在の生活や将来の生活への見通しを持たせ、学習内容を自分のもの（こと）としてとらえられるようにする。

- ⑤必ず「困ったとき」の対応を教える。
- ⑥1つの授業に1つ以上のワークシートを準備し、時間内にまとめさせる。
- ⑦必要に応じて生徒の生活状況などの情報を保護者から得ておく。
- ⑧ゲストティーチャーなども有効に利用する。

6. 金融教育テキストに沿った授業作りと授業展開事例の蓄積（2009年度）

2009年度は、2008年度に作成した金融教育テキスト「くらしとお金」に基づいた授業を行い、その授業展開事例を蓄積することが課題となった。今年度行われた授業は以下の通りである。

- ①「自分とお金、現在・将来の自分
- ②「上手な買い物の仕方（資料2）
- ③「外出の計画
- ④「銀行・ATMの利用
- ⑤「安全・安心なくらし：個人情報、携帯電話（資料1）
- ⑥「将来の私に必要なお金：私はこんな部屋に住みたい
- ⑦「将来の私に必要なお金：ひとりぐらしに必要なお金、生活費・費目について
- ⑧「将来の私に必要なお金：くらしに必要なお金はいくらくらい
- ⑨「将来の私に必要なお金：収入と支出
- ⑩「私のための支援機関、サポーターズサークル

また、本校以外でも、東京都〇〇区の就労支援センターにて「現在の自分のお金の使い方について」、「自分のことをよく知ろう」のテーマで2時間の授業を行っている。今年度はこれらの授業について指導案、または展開事例（略案）を作成して行っており、金融教育テキストを網羅するところまでにはまだ遠いが、少しずつ展開事例が集まっているところである。

7. 今後の課題

今後の課題としては以下のことがあげられる。

- ①「わたしたちのくらしとお金」の指導内容に関わる授業展開例の作成。
- ②「社会と経済」の学習内容の検討と授業づくり。

資料1

くらし「生活知識」学習指導案

日時：平成21年10月16日（金）14:00～14:50

場所：特別支援学習室2

対象：高等部3年 3名

指導者：小金井俊夫

1. 題材名

「社会のワナから身を守ろう1－個人情報、携帯電話の扱い－」

2. 題材設定の理由

高等部では、生徒自身が自ら主体的に卒後の生活や生き方を考え、選ぶこと、またそれを具体的な体験を通す中で学習することを目的に教科「くらし」が設定している。

「くらし」は「調理」「被服」「住まい」「生活知識」の4分野で構成され、なかでも「生活知識」は経済生活、安心なくらし、地域生活、人付き合い等に関する社会生活に必要な幅広い知識を身につけることを中心的な内容にしており、社会生活に必要な知識を得て、生活にかかしていくことができるということを目標としている。

今回取り扱う内容は、一昨年から大学と共同研究を行っている「特別支援教育における金融教育」の内容の一コマである。本校で研究している「特別支援教育における金融教育」の内容は、その対象を高等部の中・軽度生徒と規定し、移行支援に関わる内容として組み立てられており、本校における対象授業は「くらし」の「生活知識」を想定している。

本時の授業までに4回の授業を行ってきた。そこでは、昨年度作成した「金融教育のテキスト」を元に、①自分とお金、現在・将来の自分、②上手な買い物の仕方、③外出の計画、④銀行・ATMの利用の授業を行ってきた。5回目となる今回は、「安全・安心なくらし」をテーマとする内容で、社会に出て困ってしまうことやいろいろな危険への対応を学習するものである。卒業後の生徒の生活は、文字通り多様な社会での生活となり、そこでいろいろな経験をし、多様なことを学び、また、そこで学習してきたことによる不十分な知識と経験で行動をすることとなる。今回の内容はそのようなことが想定される生徒たちに最低限の危険に対する知識を付けさせようとするものである。もちろん社会に潜む危険はテキストに書かれた内容だけではない。時間の許す範囲で、また、生徒たちの想定される生活の中で可能性のありそうな内容に関しては、より具体的に扱っていきたいと考えている。今回はこの内容に関しての初めての授業であるので、学習の中では生徒たちの現状での知識や考えも聞き出しながら進めていくことを想定している。

本時の対象生徒は、高等部3年の女子3名である。どの生徒も卒業後の企業就労を希望し、第Ⅱ期の現場実習にこれから挑んでいこうとしている。コミュニケーションの面でもそれぞれに特性はあるものの、一般的な会話が十分に可能で、一通りの意志疎通が可能である。生活面でも身辺的には自立しており、金銭の扱いなどもほぼ一人で行える。社会的な規範もそれぞれにわかっており、してよいことと、してはいけないことの区別ができる。買い物などでは、よりやすくていいものを選びたいしたり、お金の使いすぎに注意したりできるし、将来の自分についての希望を考えたり、そこでの生活を想像したりすることができている生徒たちである。

このような実態をふまえ、今回の一連の授業では、生徒たちの生活実態を授業の中で捉えながら、生活に関わる金銭のことを確認しながら進めていく方法で学習を進めてきた。卒業後の生活を考えると、どの内容も今やっておくべき課題であり、時間数の少なさをあらためて惜しいと感じるところである。今回の「安全・安心なくらし」に関わる内容もきちんと掘り下げて学習していくべき内容であるが、時間との関係で、①社会のワナから身を守ろう、②くらしの中で気をつけること、③わたしのための支援機関の3時間の枠で行うこととした。

最後に、今回の一連の授業は、前述の「金融教育」の研究の一環として行われている。そこでの課題は、①金融教育のテキストを使って授業を行うこと、②授業の指導案例を作成することである。本指導案の資料として指導案例をつけておくので、その内容等についてもご教示いただけるとありがたい。

3. 目標

- 1) プリペイドカードやクレジットカード、その他の新しいお金についての知識や、適切な使い方がわかる。
- 2) キャッチセールス等お金に関する危険についての知識を持ち、危機回避の方法がわかる。
- 3) お金に関してどんなことで困ることがあるかを理解し、その対処方法がわかる。
- 4) 支援機関や支援者の存在がわかり、その利用方法を身につける。

4. 指導計画

1	9 / 16	安全・安心なくらし	「社会のワナから身を守ろう」
2	未定	安全・安心なくらし	「くらしの中で気をつけること」
3	未定	安全・安心なくらし	「わたしのための支援機関」

5. 本時の学習

1) 本時の目標

- (1) 個人情報とはどんなものか、また取り扱いの注意点についての知識を持つ。
- (2) 携帯電話の扱い方や使用上の注意点についての知識を持つ。
- (3) 困ったときの対応の仕方を考えることができる

2) 準備物

ホワイトボード、ワークシート、掲示用ワークシート

3) 生徒の実態及び目標・手だて

名前	実 態	個人目標	指導の手だて	関連する 個別教育計画
A 高3 女	・個人情報や社会の危険に関する若干の知識はある。 ・携帯電話を使用している。 ・困ったときには相談するという知識は持っている。	・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。	・今持っている知識や実態から考えさせ、実態を把握しながら授業を進める。 ・課題を整理し、ワークシートにまとめさせる。	
B 高3 女	・個人情報や社会の危険に関する若干の知識はある。 ・携帯電話を使用している。 ・困ったときには相談するという知識は持っている。	・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。	・今持っている知識や実態から考えさせ、実態を把握しながら授業を進める。 ・課題を整理し、ワークシートにまとめさせる。	
C 高3 女	・個人情報や社会の危険に関する若干の知識はある。 ・携帯電話を使用している。 ・困ったときには相談するという知識は持っている。	・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。	・今持っている知識や実態から考えさせ、実態を把握しながら授業を進める。 ・課題を整理し、ワークシートにまとめさせる。	お金を上手に使うことができる

4) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 内 容	留 意 点
<p>挨拶をする。</p> <p>本時の内容について知る。</p> <p>テキストを使用し、「社会のワナ」のいくつかについて紹介する。</p> <p>これから学習することを知る。</p>	<p>・あいさつをする。</p> <p>・「社会のワナ」について学ぶことを知る。</p> <p>・「社会のワナ」とは何かを考える。</p> <p>・テキスト (P47-51) から「社会のワナ」のいくつかについて確認する。</p> <p>・個人情報についての注意と携帯電話の注意について学ぶことを知る。</p>	<p>・ひとつ一つ板書。</p> <p>・生徒の意見が出る場合にはその特性を考慮し、分類していく。</p> <p>・「なぜ、こういうことを学ぶか」を考えさせる。</p> <p>・「だましてやろう」が何につながるかを考えさせる。</p> <p>「だまされるとどうなる」</p>
<p>テキスト「個人情報についての注意」を読み、自分の個人情報について考える。</p>	<p>・テキストを読んで、自分の個人情報について考える。</p> <p>・個人情報 (P47-51) から「社会のワナ」のいくつかについて確認する。</p> <p>・個人情報の取り扱いに関する大まかなルールを知る。</p> <p>・個人情報についての注意点やルールをワークシートにまとめる。</p>	<p>・具体的に何が個人情報なのかを考えさせる</p> <p>・個人情報について板書する。</p> <p>名前は、生年月日は、メールアドレスは・・・</p> <p>・教えない、伝えない、書かない、断る基本として考えさせる。</p> <p>・個人情報を伝えていい場合は・・・。</p> <p>・自分が必要でお願いするとき 家族や支援者と相談して</p> <p>・生徒Cの記入時間にあわせる。</p>
<p>テキスト「携帯電話についての注意」を読み、自分の携帯電話の使い方やその注意点について考える。</p>	<p>・テキストを読み、自分の携帯電話の使い方について確認する。</p> <p>・使っている、いない？</p> <p>・メールは使っている？</p> <p>・費用はどのくらい？</p> <p>・迷惑メールって何？</p> <p>・携帯電話使用の注意点や危険なワナについて考える。以下の点についてまとめる。</p> <p>①利用料金</p> <p>②迷惑メール</p> <p>③個人情報の扱い</p> <p>④携帯の貸し借り</p> <p>・携帯電話の使い方についての注意点をワークシートにまとめる。</p>	<p>・板書しながら確認する。</p> <p>・ワークシートを使い、4つの点についてまとめる。</p> <p>・生徒Cの記入時間にあわせる。</p>

学習のまとめをする。	・個人情報の扱いと携帯電話の注意点について確認する。	
------------	----------------------------	--

5) 評価

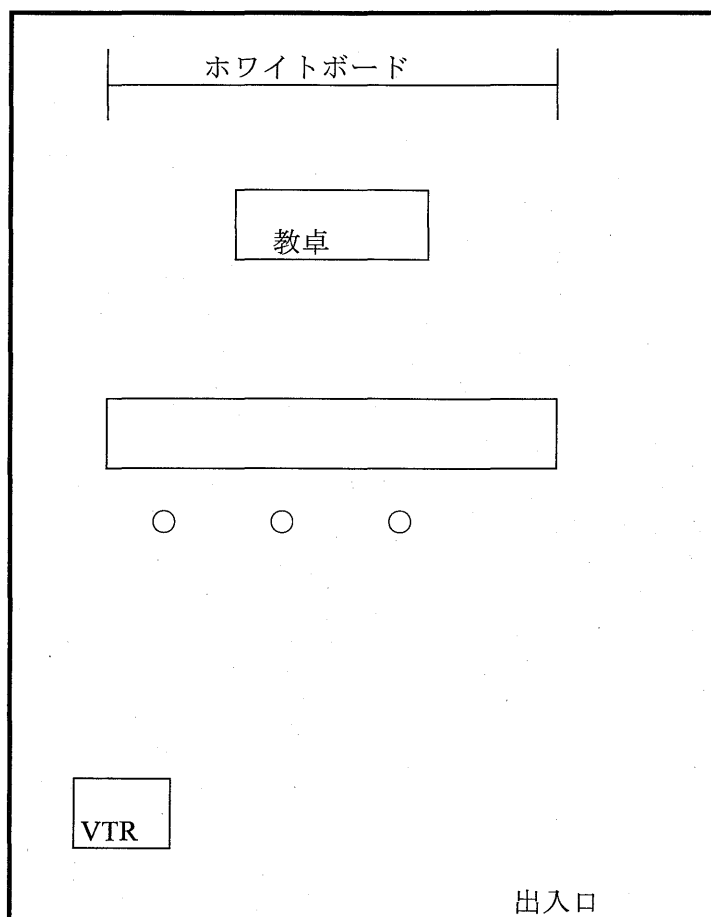
(1) 本時の個人目標の評価

授業名：くらし「生活知識」 授業日10月16日(金) 授業者：小金井俊夫			
生徒	個別の目標	評価/○×	コメント
A (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。 		
B (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。 		
C (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の内容や扱い方がわかる。 ・携帯電話使用の注意点がわかる。 ・困ったときの対応法について知る。 		

(2) 授業の評価

授業名：高等部くらし「生活知識」 対象学年：高等部3年生 授業者：小金井俊夫				
項目	評価内容	10/16評価	評価	評価
目標	1. 本時の目標が達成できたか。			
	2. 本時の目標は適切であったか。			
活動	3. 本時の目標に合った学習活動であったか。			
手 だ て	4. 教材が適切であったか。			
	5. 教材の提示方法は適切であったか。			
	6. 教材の使い方は適切であったか。			
	7. 教示方法は適切であったか (分かりやすさ・口調等)。			
	8. 子どもへの援助方法は適切であったか。			
	9. 集団の統制は適切であったか。			
	10. 子どもの反応の捉え方は適切であったか。			
TT	11. 教員間の役割分担とその連携は適切であったか。			
学習 環境	12. 本時の時間配分は適切であったか。			
	13. 場面の設定は適切であったか。			

6) 備考
(1) 配置図



生徒の座席はその場で
決めさせる。

資料2 授業展開例 「上手な買い物の仕方」

2-1 買い物上手はくらし上手

1) 授業について

2-1-1		「買い物上手はくらし上手」	
対象	高等部3年 Aグループ 3名	時間	(1/1)時間
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物をする際の注意点に気づく。 ○上手な買い物の仕方について考えることができ、買い物のシミュレーションができる。 		
準備物	テキスト、ワークシート		
授業のポイント			
指導内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の自分の買い物の仕方 →お小遣いを使う、お手伝いで買い物する。将来の自分の買い物の仕方 →もらった給料を計画的に使う中で考える。現在の自分のお金の使い方とは違い、給料をもらうことで、自分の世界が広がっていくことを認識させる。 ・上手な買い物の仕方をお金の使い方と商品の選び方に分け、それぞれの注意点に気づく。 ・「上手な買い物の約束」についてさらに具体的な内容で理解する。 ・支援者の利用についても考えさせる。 ・こづかい帳の導入もしておくようにする。 		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒それぞれの発表をできるだけ肯定的にとらえるようにし、それぞれの発表を促す。 ・設問や問いかけが難しいときには、他の生徒の意見も聞き参考にさせるようにする。 ・お金の上手な使い方をシミュレーションする中で考えられるようにする。 ・必要であれば、現状をとらえるために事前アンケートを行ってもよい。 		
指導計画のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめれば1時間で可能と思われるが、じっくりやるとすると次のような計画も考えられる 1) 自分の買い物の仕方やお小遣い帳の付け方の報告 2) 買い物の際の注意(シミュレーション)と上手な買い物の約束 3) 買い物の実習(2時間) 		
ゲストティーチャーの利用			
ワークシートのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「上手な買い物の約束」についてテキストの内容をさらに具体的にまとめたものが記入できるものを作成する。 ・買い物の際の注意点についてお金の使い方と商品の選び方に分けてまとめられるようにする。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を行ってみて やはり1時間では展開に無理があり、後半の買い物シミュレーションまでは行き着かなかった。 生徒たちはそれぞれの買い物の経験もあり、無駄遣いをしないなどの注意点もよく知っていたので、展開はスムーズにいった。ただ、生徒たちそれぞれの話を引き出していくと時間がかかってしまうのは仕方ないところかと思う。 		

2) 展開例

活 動	展 開	留 意 点
<p>挨拶をする。 本時の内容について知る。</p> <p>自分がしたことのある買い物について考える。</p>	<p>・あいさつをする。</p> <p>○「買い物」の話をすることを伝える。 ・自分で買っているものはどんな物。 ・買い物をするときどんなことに注意している。</p> <p>○自分の買ったことがあるものや行ったことがあるお店について考えてみる。</p>	<p>○意見をとりながら板書。</p> <p>○意見を聞いた上でテキストを開かせ、「私の買い物」に記入させる。</p>
<p>買い物の時の注意点について考える。</p>	<p>○テキストを読んだ上で、買い物の時の注意点を商品の選び方の観点よりまとめる。</p>	<p>○洋服の例の他にも食品などの例を使ったワークシートを準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 値段 ・ 消費期限や賞味期限 ・ 好み、好き・嫌い ・ 必要性
<p>「上手な買い物の仕方」について考える。</p>	<p>○テキストを使用しながら「上手な買い物の約束」についてひとつずつ確認する。</p> <p>○確認したことをワークシートにまとめる。</p>	<p>○テキストの内容を具体的にまとめられるワークシートを用意する。</p>
<p>洋服やアクセサリなどの買い物を想定した買い物計画を立ててみる。</p>	<p>○雑誌を参考にしながら買い物計画のシミュレーションをする。</p>	<p>○情報の収集の仕方については他の方法も考えてみる。</p> <p>○家族や支援者などの利用にもふれる。</p> <p>○時間がある場合には適当な場所を想定した外出計画にも踏み込んでおく。</p>
<p>学習のまとめをする</p>	<p>○こづかい帳にも触れながら、「上手な買い物の仕方」について、「お金の使い方」「商品の選び方」の二つの観点でまとめる。</p>	

3) 使用したワークシート(例)

上手な買い物のしかた3 (買い物の計画)

買い物の計画を立ててみよう

買い物計画表

月 日

行くところ		
買うもの	量と値段の目安を書こう	
	量	値段
持っていくお金		
注意すること		